

指定管理業務評価結果書

1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	鶴山公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1 名称 公益社団法人津山市観光協会 代表者 代表理事 竹内佑宜
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 都市計画課
(4) 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日
(4) 評価対象期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日

2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数137,955人 (前年度入園者数175,415人) 備中櫓入館者数 52,322人
(2) 事業の内容	・津山さくらまつり(4月1日～15日) 67,783人 (前年度93,960人) ・牛うまっ王選手権 約 7,000人 ・花火の観覧席 約 500人 ・お城まつり(ご当地グルメフェス&美作国大茶華会) 10,441人 ・津山城初日の出イベント 約 300人

3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">58,090千円(前年度 61,984千円)</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">31,186千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">19,100千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">2,804千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">5,000千円</td> </tr> </table>	総額	58,090千円(前年度 61,984千円)	利用料金収入	31,186千円	指定管理料	19,100千円	事業収入	2,804千円	その他	5,000千円								
総額	58,090千円(前年度 61,984千円)																		
利用料金収入	31,186千円																		
指定管理料	19,100千円																		
事業収入	2,804千円																		
その他	5,000千円																		
(1) 支出 (指定管理者の支出)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">58,087千円(前年度 61,898千円)</td> </tr> <tr> <td>主な支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">32,940千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">2,256千円</td> </tr> <tr> <td>修繕・消耗品費等</td> <td style="text-align: right;">3,092千円</td> </tr> <tr> <td>委託料(施設管理)</td> <td style="text-align: right;">6,302千円</td> </tr> <tr> <td>負担金・公租公課</td> <td style="text-align: right;">4,497千円</td> </tr> <tr> <td>事業費・誘客促進費</td> <td style="text-align: right;">7,148千円</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td style="text-align: right;">1,852千円</td> </tr> </table>	総額	58,087千円(前年度 61,898千円)	主な支出		人件費	32,940千円	光熱水費	2,256千円	修繕・消耗品費等	3,092千円	委託料(施設管理)	6,302千円	負担金・公租公課	4,497千円	事業費・誘客促進費	7,148千円	雑費	1,852千円
総額	58,087千円(前年度 61,898千円)																		
主な支出																			
人件費	32,940千円																		
光熱水費	2,256千円																		
修繕・消耗品費等	3,092千円																		
委託料(施設管理)	6,302千円																		
負担金・公租公課	4,497千円																		
事業費・誘客促進費	7,148千円																		
雑費	1,852千円																		

4. 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	<ul style="list-style-type: none">・全国100名城やお城めぐりなどのツアー客が多かった。・年々インバウンドの観光客が増加している。(特にアジア系)・さくらシーズン以外の来園者には備中櫓が好評であった。・石垣のすばらしさに人気があった。・手すりなどバリアフリー対応の要望があった。・車や車いすで入園し、本丸まで行きたいという要望があった。
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none">・毎年津山さくらまつりに、期間中10万人の入園者を目標にしているが、今年は4月5日には桜が散り、67,783人の入園者となり、過去最低水準となった。・5月ゴールデンウィークに、ご当地グルメ(津山和牛PR)、そして秋には津山お城まつりを開催し、入園者増に努めた。・誘客のため、関西方面を中心に、積極的に広告・宣伝を行った。・平成31年度のさくらまつりの期間が変更になるため、関西圏までで、300社の旅行社等に通知した。・四季にとらわれず、石垣の名城津山城を広告宣伝を行った。・樹木に名称の名札を設置するなど、来園者にわかりやすい対応に努めた。・さくらの開花状況・台風被害・風評被害・津山線などの不通・猛暑と、かつてないような、逆風の中、様々な対応を行ってきたが、挽回ができなかった。・今後は、さくらの開花状況に左右されないよう、四季折々の花・石垣の名城・イベント等での会場として津山城を使用してもらうなど、様々な活用策やPRに積極的に取り組んで参ります。
(3) 市の評価	<ul style="list-style-type: none">・事業計画に沿って管理運営業務が概ね実施され、園内の施設維持や城跡の保全、利用者の安全確保が行われた。・収支計画は事業計画に基づき実施されているが、利用料収入が減少し、運営経費が増加している。見直しを行い、経費削減が望まれる。・施設利用を促進するため様々な自主事業に取り組み、宣伝広報に努め入園者数の増加を図っている。・本市を代表する観光資源であることから、長年の管理運営に関するノウハウを活用し、さらに施設の価値を高める取り組みを期待する。